

## No.738 bioWAVE波力発電装置と実証事業

2016年8月23日 株式会社ユニバーサルエネルギー研究所技術顧問 田中 忠良 ほか

## 【概要】

豪州では、ARENA(豪州再生可能エネルギー局、産業省の附属機関)による積極的な波力発電システム開発への投資がなされている。本稿では、2015年に実証機が設置された bioWAVE波力発電装置と、その実証事業である「ポートフェアリープロジェクト(Port Fairy Project)」についてまとめる。

## 【プロジェクト概要】

事業規模は 21 百万 AUD (約 18.9 億円。1AUD=90 円を想定)。うち、豪州再生可能エネルギー局 (ARENA) の Emerging Renewables Program から 11 百万 AUD、豪ビクトリア州政府から 5 百万 AUD が出資され、残り 5 百万 AUD は実施主体の自己資本による。

実施主体はバイオパワーシステムズ有限会社(BioPower Systems Pty Ltd、以下 BPS 社)。 波力発電ユニットは BPS 社の開発した bioWAVE(容量 250kW(設計値、未実証))。

事業期間は不明。2012 年 6 月の開始当初は、2013 年後半に 250kW の bioWAVE 装置を設置し、21 ヶ月間の運用実証をおこなう計画としていた(すなわち 2015 年秋頃の実証完了を予定していた)。しかし開発の遅れが 1 年、設置完了は 2015 年末と 2 年遅れている。

現在も就役開始のための海中作業等が完了していないため、実証は始まっていない。

## 表. プロジェクト年表

年月	出来事
2011年12月	豪ビクトリア州政府から資金供与
2012年6月	豪州政府から資金供与が発表、2013 年後半の実証開始を予定
2014年2月	設計変更にともなう1年の計画遅延が発表される
2014年9月	設計・製作完了
2015年6月	沿岸での製作と試験が完了
2015年11月	対象サイトに海底ケーブルが敷設され、航行禁止区域(Boat Exclusion Zone)が設
	定される
2015年12月	海底に bioWAVE 実証機が設置される
2016年1月	実証機の就役に向けた海中作業を開始。2 月まで作業は続き、すべての装置の運転
	準備が整ったことを確認後、運用開始予定と発表された。





年月	出来事
2016年5月	気象条件不良によって就役開始作業が進んでいないため、南半球の冬明け、2016
	年後半の就役を見込んでいる、と CEO 談(Tidal Energy Today.com による)

(出典: BioPower Systems Pty Ltd プレスリリースおよびその他各種資料より

(株)ユニバーサルエネルギー研究所が作成)

【波力発電システム: bioWAVE 装置】

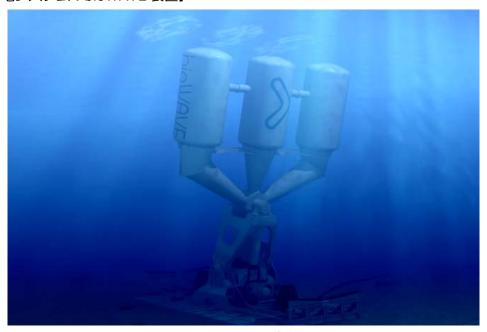


図. bioWAVE 装置の動作イメージ

(出典: BioPower Systems 社 HP)



図. bioWAVE 装置がクレーン船により設置される様子

(出典: BioPower Systems 社 HP)



bioWAVE 装置は、3 本の垂直方向に置かれたパドル、BPS の開発したエネルギー変換装置「O-Drive」、パドルと O-Drive を接続する支持構造体、およびその支持体と基礎からなっている。システムの全高は 26m で、すべて鋼製。

装置全体が海中に没しており、パドルは波の力により、海面近くで前後に動揺する。O-Drive は、この不安定な波の揺動運動エネルギーを利用して水圧ピストンを動かし、圧縮した海水をアキュムレータに蓄え、水力発電機を回転させ安定した発電をおこなうモジュール。系統品質に準拠した出力ができ、系統連系可能であるとされている。



図. Port Fairy Project の実証サイト

(出典: BioPower Systems 社 HP、Google map)





図. Port Fairy Project の実証サイト

(左:実証サイトの船舶航行禁止区域、右上:実証サイトと Port Fairy の位置関係、右下: Port Fairy の豪州における位置)

(出典: BioPower Systems 社 HP、Google map)

発電した電力は、3.3kV の海中ケーブルにて陸に送電される。なお、波が荒れた時は、パドルを海底に水平にすることで破損を防ぐことができる。また、O-Drive には自動化された制御装置が組み込まれており、陸からの光ファイバー通信により On/Off の指令が簡単に出せるようになっている。陸側の設備としては、415V/3.3kV の変圧器、スイッチ、保護装置、電力使用メーター、補助配線がある。これらは実証場所であるポートフェアリーの西 6km の系統連系地点にある。

以上